

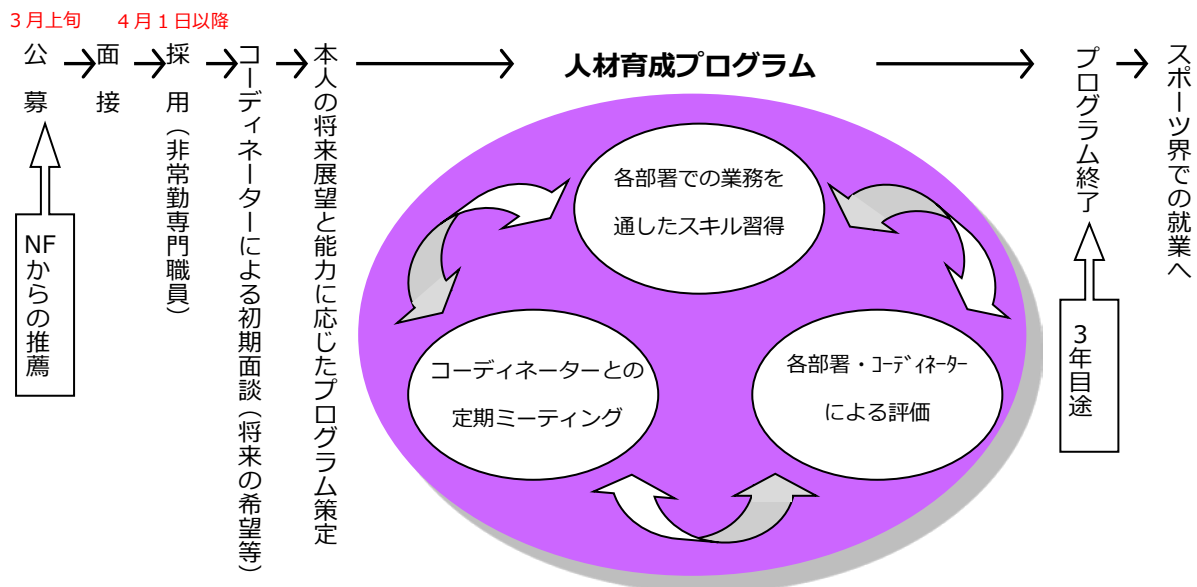
人材育成プログラムについて

近年、我が国の女性アスリートの活躍は目覚ましいものがありますが、一方で、妊娠・出産といったライフイベントによるキャリアの中断や、女性のスポーツ指導者の少なさといった課題も見られます。

そこでハイパフォーマンスセンターにおける国立スポーツ科学センター（以下「JISS」という。）では、平成 24 年度より女性アスリート（現役を引退した者を含む）や女性審判員を対象として、人材育成プログラムを実施しております。本プログラムは、将来的にスポーツ界で貢献できる適切な知識やスキルを身に付けた女性アスリートを育成することを目的としています。

カリキュラムは日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）や JISS の業務を基盤としており、実務を通して必要なスキルや知識を習得していきます。プログラムは 3 年を目途に実施し、在籍年数によりプログラム内容が変わります。1 年目は JISS の各部署を回り、業務を網羅的に理解することを目的としています。これまで、スポーツ科学部（測定業務、心理、栄養）、西が丘管理部（運営調整課・会計課）等で研修を実施してきました。2・3 年目は、個人の将来展望や興味に合わせて、より発展した内容になります（NF サポート補助、研究補助、プロジェクト運営等）。

また、短時間勤務や勤務免除制度といった柔軟な雇用体制を利用できるので、競技生活を継続しながら就業を目指す現役アスリートや、引退したアスリートのキャリア形成の場として御活用下さい。



人材育成プログラムの流れ